

関西産業ビジョン（仮称）（中間案）の概要

関西産業ビジョン（仮称）の策定にあたって

1. ビジョン策定の背景と目的

- ・今後進展する人口減少や激化する国際的・地域間競争下で、関西産業の国際競争力を強化するため、構成府県間、国や他の自治体、産学との協力と創造によるシナジー（相乗）効果を発揮し、関西が国内外から認知される広域経済圏の形成が不可欠。
- ・目指すべき将来像と関西広域連合が当面取り組むべき戦略を提示。構成府県や、産学などオール関西の関係機関との役割分担と連携の下、関西広域連合が将来像実現に向け取り組む決意を宣言。

2. 計画期間

今後10年間（将来像としては、今後20～30年先を展望）

関西産業ビジョン（仮称）（中間案）の概要

一. 現状認識

1. 関西経済の現状と課題

国際的な相互依存関係が深化する中、アジア諸国は経済活動が急速に進展。先端産業や消費市場でも注目。一方、関西は経済規模の対全国シェア低下、高い人口減少幅など求心力低下が続く。また東日本大震災を踏まえ、国内経済中枢機能の代替・バックアップ機能整備も求められる。

2. 関西経済の特徴とポテンシャル

関西は首都圏に次ぐ国内第2位の経済圏。従業者数や域内総生産の3/4が第3次産業。我が国を代表する先端産業・振興拠点が立地し、国内有数の歴史・文化資源や豊かな自然に育まれた産業資源、ものづくりなど多様な産業が集積している。

二. 関西が目指す将来像

【将来像】長期（20～30年先）を展望し実現を目指す。

◆日本とアジアの結節点となる〈アジアとつなぐ関西〉

- ・物流、人流とソフトパワーで、国内・アジアの「人・モノ・金・情報」の集まる結節点としての機能を果たす。

◆日本の成長を牽引する東西二極の一極を担う〈協創する関西〉

- ・関西の市場規模を背景に日本の成長を牽引する東西二極の一極を担い、さらには自らの魅力を高め、世界に開かれたアジアの経済拠点となる。

◆地域の魅力を支える豊かな生活圏を形成する〈新たな価値を創出する関西〉

- ・新たな価値を創出し、スローで豊かな生活を実感できる多様性を持つ生活圏を形成する。

【目標】アジアを中心とする外需を積極的に取り込んで域内経済活動を活性化し、関西が起爆剤となって日本経済の拡大に貢献することにより、関西（広域経済圏）はアジアの経済拠点として成長することを目指し、その経済・産業の国内シェアを25%とすることを目標とする。

三. 広域課題に対応する新たな「関西経済活性化戦略」～日本の元気を先導するために～

【戦略】今後10年を見据えた重点的取り組み。中長期的にはボリュームゾーンにも広範に対応。

1. 世界の成長産業をリードするイノベーション創出環境・機能の強化（グリーン、ライフ等）
2. 高付加価値化による中堅・中小企業等の国際競争力の強化（成長産業参入促進、マッチング等）
3. 「関西ブランド」の確立による地域経済の戦略的活性化（ポテンシャル活用、アジア等から集客）
4. 企業の競争力を支える高度人材の確保・育成（高度コミュニケーション人材、理工系人材など）

四. ビジョンの実現に向けて

1. 戦略を実現するための具体化手法（段階的な取り組み拡大と事業化評価、進捗管理等）
2. 事業推進体制の確立～プラットフォームの構築～（国の出先機関改革を踏まえ、経済界等の連携協力を得て、事業の実施・調整基盤であるプラットフォームを構築）
3. 関西広域連合と構成各府県の役割の整理（取り組むべき事業の整理、構成府県の事務移管の際の視点）

附言「災害等に対する産業機能の備え」

- (1) 震災に対応した産業支援の取り組み等（恒常的な支援の仕組みづくりと、災害時の備え）
- (2) 首都機能のバックアップ構造の構築（非常時に東西で補完できるデュアルシステムを構築）
- (3) 柔軟かつ強靱な広域産業基盤の整備（広域物流ルート確保、関西内の産業機能の相互連携等）

委員会における検討状況

第1回関西産業ビジョン（仮称）策定委員会

開催日：平成23年4月20日

開催場所：大阪府庁本館 2階 第4委員会室

協議事項：関西産業ビジョン（仮称）検討資料説明、委員による自由討議 等

第2回関西産業ビジョン（仮称）策定委員会

開催日：平成23年7月8日

開催場所：大阪府庁本館 2階 第3委員会室

協議事項：関西産業ビジョン（仮称）

中間とりまとめ（WG検討案）

第3回関西産業ビジョン（仮称）策定委員会

開催日：平成23年7月26日

開催場所：大阪府公館

協議事項：関西産業ビジョン（仮称）

中間とりまとめ（案）

第1回関西産業ビジョン（仮称）検討ワーキング

日時：平成23年5月17日

テーマ：「取組みの方向」と「戦略」

第2回関西産業ビジョン（仮称）検討ワーキング

日時：平成23年5月31日

テーマ：各府県の重点取組分野、震災対応

第3回関西産業ビジョン（仮称）検討ワーキング

日時：平成23年6月7日

テーマ：ビジョン骨子案

第4回関西産業ビジョン（仮称）検討ワーキング

日時：平成23年6月21日

テーマ：ビジョン中間とりまとめ案

第5回関西産業ビジョン（仮称）検討ワーキング

日時：平成23年7月5日

テーマ：ビジョン中間とりまとめ案

関西産業ビジョン（仮称）策定委員会委員名簿

委員名（50音順）	所属
稲田 義久	甲南大学 経済学部 教授
今仲 行一	技術研究組合NMEMS技術研究機構 理事長
加藤 恵正	兵庫県立大学 政策科学研究所 所長
小嶋 淳司	がんこフードサービス株式会社 会長（大阪商工会議所 副会頭）
森下 俊三	西日本電信電話株式会社 相談役（関西経済連合会 副会長）

※オブザーバー参加：

中村 稔 近畿経済産業局 総務企画部長

杉本 安史 大阪府 商工労働部長